



沖縄に 辺野古新基地は 必要か

—中国脅威論の中で、米海兵隊の役割を考える—

「日本全土の0.6%の面積しかないのに、在日米軍の専用施設の74%が集中する沖縄。そこにまた新たな基地を作るのはおかしいということは分かる。でも、乱暴な中国や危険な北朝鮮の動きを見るにつけ、はたして本当に基地を縮小しても大丈夫なのか？とも思う」…そんな疑問をお持ちのあなたに、武蔵野市出身で現地沖縄で日米関係を専門に研究してこられた佐藤学沖縄国際大学教授が、目からウロコのお話しをします。

2016年 **3月12日(土)**
18:30～21:00 (開場 18:15)

会場：武蔵野公会堂 第1・第2 会議室
吉祥寺駅南口徒歩1分 丸井東隣

資料代：500円 (高校生以下無料)

主催：辺野古アクションむさしの
(連絡先：高木 0422-21-7705)



講師

沖縄国際大学教授

佐藤 学 氏

1958年武蔵野市生まれ。
早稲田大学卒、ピッツバーグ大学大学院博士課程修了。
専攻は地方自治・アメリカ政治。著書に「沖縄が問う
日本の安全保障」(共著、岩波書店)など。



